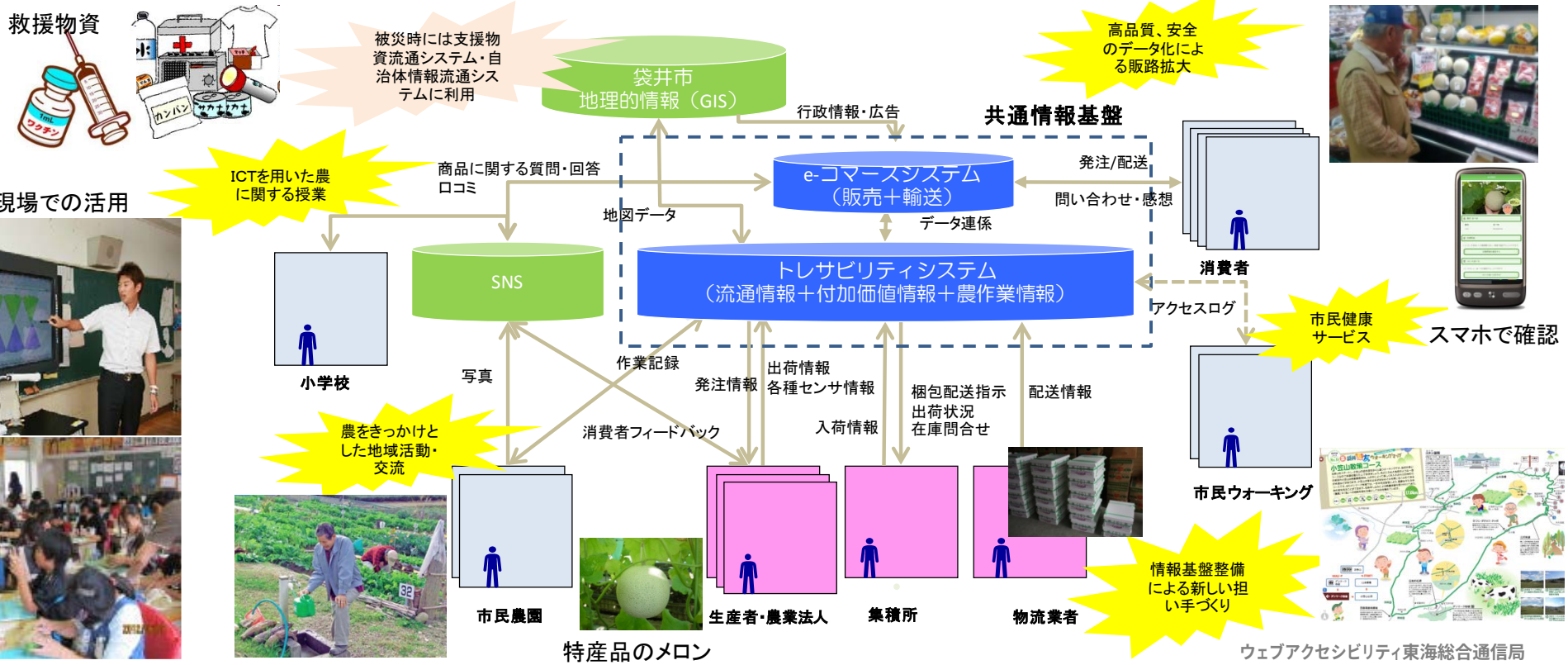
災害時支援物資供給機能を兼ね備えた6次産業化コマース基盤構築事業

提案者	（株）大和コンピューター、袋井市、慶應義塾大学、神奈川工科大学
実施地域	静岡県袋井市
事業概要	農作物のトレーサビリティシステムと、それと連携して販売＋輸送を行うeコマースシステムで構成される共通情報基盤を生産農家・市民農園等に構築し、地区特産品の販路拡大・効率的な輸送を実現し、その機能・性能や市民の受容性を検証する。市民農園での農家との交流サイトの構築、小学校でICTを用いた先端農業に関する授業を行う事により市民参加型の農を活かしたまちづくりを行い、また市民健康サービスを提供することにより地域交流を促進する。この共通情報基盤を自治体が保有する地理情報システムと連携するように整備することで、災害地には支援物資を収集し、自治体が保有する被災情報や道路状況と連携させて需要のある避難所等に効率的に配布できることを実証する。